

閑上地区タウンマネジメントの方向性検討

新しい閑上を、利便性が高く・活気のある・快適なまちとする為、**どういうまちづくりを進めたいか、何を進めたいか？**

2019年度の総会議案に提起済み

- 新しい閑上を維持・発展させてく仕組みづくり
- 多種多様な業種を繋ぎ、協同で閑上を良くして行く
- 自主自立できる地域自治組織の実現
⇒ 連合会・独立法人化(NPO/株式会社)が必須

まとめの切り口

- 何をネタに閑上タウンマネジメントをするのか？
- 独立法人化(NPO/株式会社)の必要性
- 区画整理範囲のみならず、閑上学区が守備範囲
- 運営資金 ⇒ 協賛金・出資金・株式・事業収入 etc

No	事業項目	事業目的・狙い	実現方法・手段	支援機関	収益性	実現性
①	連合町内会	各町内会間の相互取りまとめ	現まちづくり協議会の役割りを継承			
②	ゆりあげの窓口	閑上地区全般の対内/外 窓口運営	各町内会・各団体で協同出資運営			
③	中央緑道管理	清掃・維持管理				
④	街区公園管理	清掃・維持管理				
⑤	河川堤防域管理	清掃・維持管理				
⑥	多目的運動場管理	多目的運動場の清掃・維持管理				
⑦	ゴミ集積所管理	清掃・維持管理				
⑧	都市ガス料集金	ガス料集金を兼ねたまちの見守り隊	ガス使用量の前月差を基に安否確認			
⑨	シェアチャリ管理	閑上周遊の有料自転車の貸出し	仙台DATE BIKEを参考・チャリメンテ			
⑩	自販機販売管理	公園・集客場での物品無人販売	飲み物・昔のお菓子・ガチャガチャ etc			

● 大津波に備えて
● 地震災害に備えて
● 発災〇年目に、何を考え、何をしていた？
● 復興スピード感の是非
● コミュニティの破壊と創生

被災教訓・経験談の備忘録(アーカイブ化)

2019年度の総会議案に提起済み

- 被災教訓・経験談を時系列で整理
- 各種支援機関・団体から学び得た事の整理
- まちづくり協議会活動を通し学び得た事の整理
- 他所(南海トラフ等)に対する経験談の公表

まとめの切り口

- 発災当初～ハード構築～ソフト確立への段階的移行
- 震災被害の違い 津波被害と火災・倒壊被害
- 現地再建(区画整理)と移転再建(防集)の違い
- まちづくり=人づくり=心(コミュニティ)の復興と再生